

# CommuniGate Pro

コミュニゲート プロ 5.1 スタートアップガイド 2.01



ドラゴン・ネットワークス株式会社

## 目次

---

CommuniGate Pro について.....	3
CommuniGate Pro のインストールと初期設定.....	4
インストーラの入手.....	4
インストールとサービスの起動.....	4
WebAdmin インターフェイスへの接続.....	6
WebAdmin インターフェイスへのログイン.....	6
ドメインの登録と基本設定.....	7
アカウントの登録.....	8
エイリアスの登録.....	9
Web ユーザインターフェイスのデフォルト設定.....	10
ライセンスキーの登録(製品版を購入した場合のみ).....	11
Outlook の設定.....	13
MAPI コネクタのインストール.....	13
メールプロファイルの作成.....	13
MAPI コネクタの設定.....	15
フォルダの共有に関する設定.....	17
空き時間情報の共有に関する設定.....	18
Outlook で可能な作業.....	20
Web ユーザインターフェイス上での操作.....	21
Web ユーザインターフェイスへの接続.....	21
Web ユーザインターフェイスへのログイン.....	22
Web ユーザインターフェイスの基本設定.....	22
多彩な Web スキン.....	23
Web メール.....	25
カレンダー.....	25
Outlook 以外のメールクライアントによるメールボックスの共有.....	26
Web サイト.....	28
アンインストール.....	30
CommuniGate Pro のアンインストール.....	30
MAPI コネクタのアンインストール.....	31
CommuniGate Systems について.....	32

## CommuniGate Pro について

CommuniGate Pro(コミュニゲート プロ)は技術的に最先端の水準にある統合コミュニケーションサーバです。電子メール、カレンダー、VoIP/SIP、インスタントメッセージング、グループウェア、コラボレーション、メーリングリスト、Web メール各機能がすべて搭載された「インターネットコミュニケーションサーバ」です。

インターネットコミュニケーションでは、複数のプロトコルと通信方式を介して行われます。サーバやクライアントのプラット



フォームが異なっても、ユーザは電子メ

ールやインスタントメッセージャーを使ったり、INBOX の音声メールにアクセスしたり、電話をかけたり、他のユーザとコラボレーション作業を行うなど、様々なコミュニケーションを行います。CommuniGate Pro の場合、こういった作業をすべて統合して処理することにより、システム管理者は単一の Web ベースのユーザインターフェイスで全て管理・運用することがで

き、ユーザも同様に単一のインターフェイスで全ての作業を行うことができます。

また CommuniGate Pro は、通信キャリアクラスのインターネットコミュニケーションにも対応しており、国・地域を問わず、通信キャリア・ブロードバンド/モバイルサービスプロバイダ、一般企業、大学、OEM パートナーの方々にもご利用いただけます。CommuniGate Pro はスケラビリティと拡張性に非常に優れており、独自のクラスタリングテクノロジーにより、99.999%というアップタイムを実現しています。その結果、堅牢で極めて信頼性の高いインターネットコミュニケーションシステムの構築が可能です。

CommuniGate Pro は現在、1 億 2500 万人のエンドユーザに使用されており(2006 年 4 月時点)、そのうち音声機能を使用しているユーザは 4500 万人を上回ります。また開発元である CommuniGate Systems は、常に最先端のインターネットコミュニケーション技術を求め、開発し続けています。



## CommuniGate Pro のインストールと初期設定

---

CommuniGate Pro(以下、CGP)のインストール及び、初期セットアップ方法について説明します。

※ この文書は、CGP のインストール先であるサーバの動作(OS、ネットワーク、DNS など)が正常に動作していることを前提に作成されています。

### インストーラの入手

付属の CD-ROM、又は、下記のサイトから、お客様の環境に応じたインストーラを入手してください。

<http://www.dragon-networks.com/products/cgp/trial/>

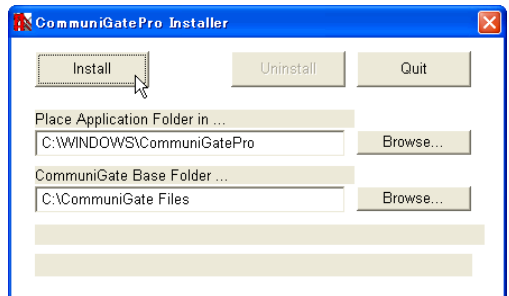
### インストールとサービスの起動

※ CGPを起動する前に、CGPが使用するポートを利用しているサービスは、あらかじめ停止させておいてください。CGP が使用する主なポート番号は下記の通りです。

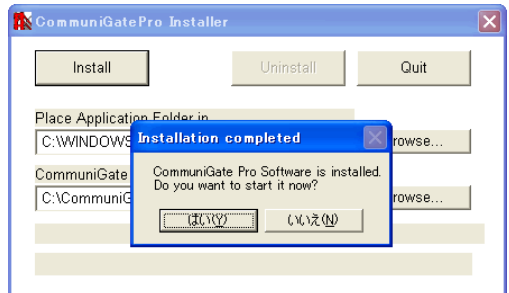
プロトコル	ポート番号	内容
Tcp	25	SMTP
	106	PWD
	110	POP
	143	IMAP
	389	LDAP
	636	LDAP(secure)
	674	ACAP
	993	IMAP(secure)
	5060	SIP
	5061	SIP(secure)
	5222	XMPP
	5223	XMPP(secure)
	8010	http 管理者画面
	8021	ftp
	8100	http ユーザ画面(web mail)
	9010	https 管理者画面
9100	https ユーザ画面(web mail)	
11024	XIMSS	
Udp	5060	SIP

## Windows の場合

ダウンロードしたインストーラファイルを解凍し、Installer.exe を実行し、[Install]ボタンを押します。

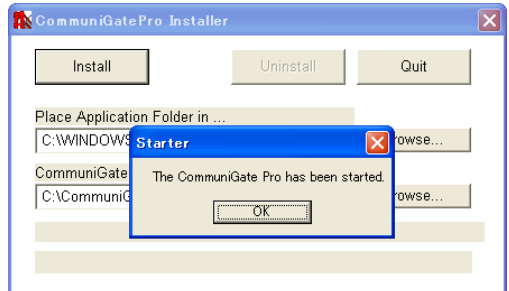


インストールが完了すると CGP のサービスをすぐに開始するかどうかの確認メッセージが表示されます。すぐに開始して良い場合は[はい]を選択します。



※ ここで[いいえ]を選択し、後で CGP のサービスを開始するには、Windows のサービス一覧から選択してください。

最後に[OK]を押すと、インストールとサービスの開始が完了です。



## Linux の場合

スーパーユーザ(root)でログイン後、「-ivh」オプションをつけてインストーラを実行します。  
(例:「rpm -ivh %ファイル名%」)

※ ファイル名:  
インストール対象が IA サーバ(x86 系)上の Linux の場合、ファイル名は「CGatePro-Linux.i386.rpm」になります。

rpm によるインストール完了後、CGP プロセスを起動してください。  
(例:「/etc/rc.d/init.d/CommuniGate start」)

## WebAdmin インターフェイスへの接続

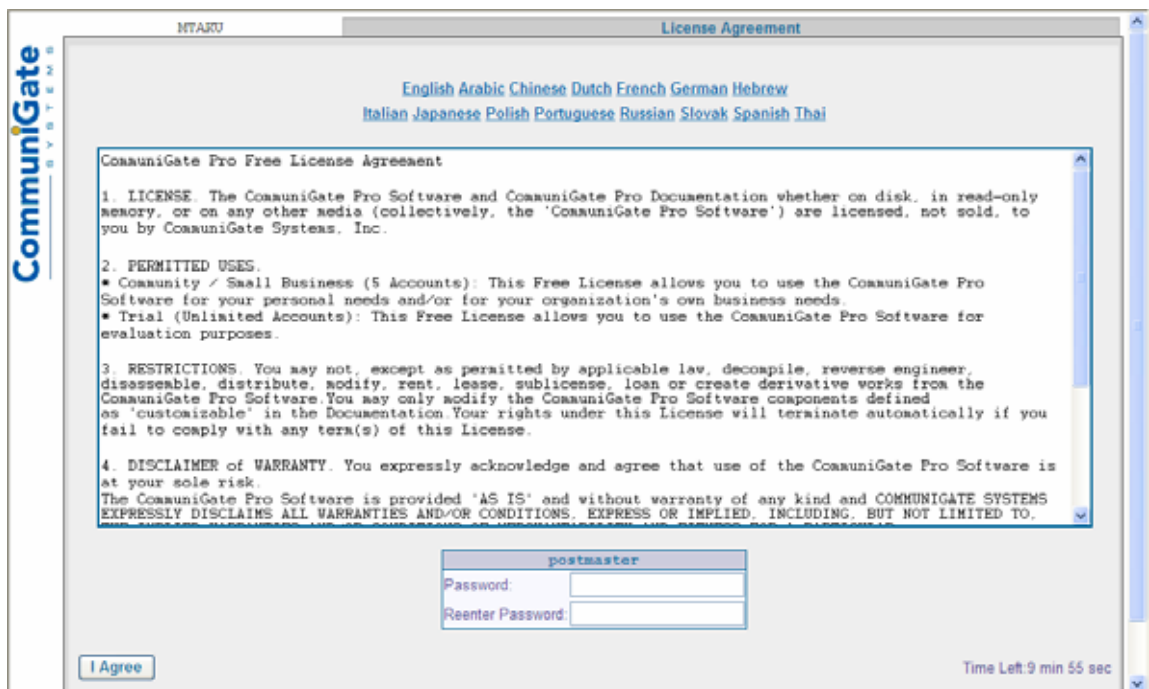
Web ブラウザを開き、CGP の WebAdmin インターフェイスに接続します。接続するには、下記いずれかの URL を指定します。

<http://サーバの IP アドレス又は FQDN:8010>

<https://サーバの IP アドレス又は FQDN:9010>

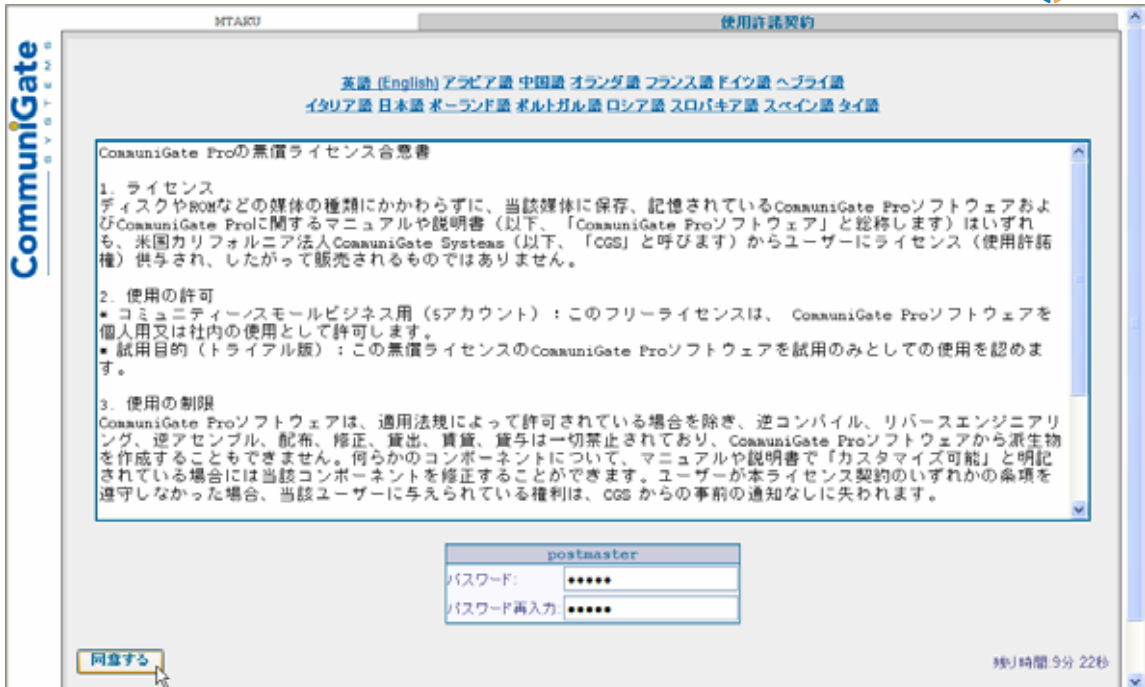
## WebAdmin インターフェイスへのログイン

CGP のインターフェイスに最初にアクセスすると、下記の[License Agreement]が表示されます。

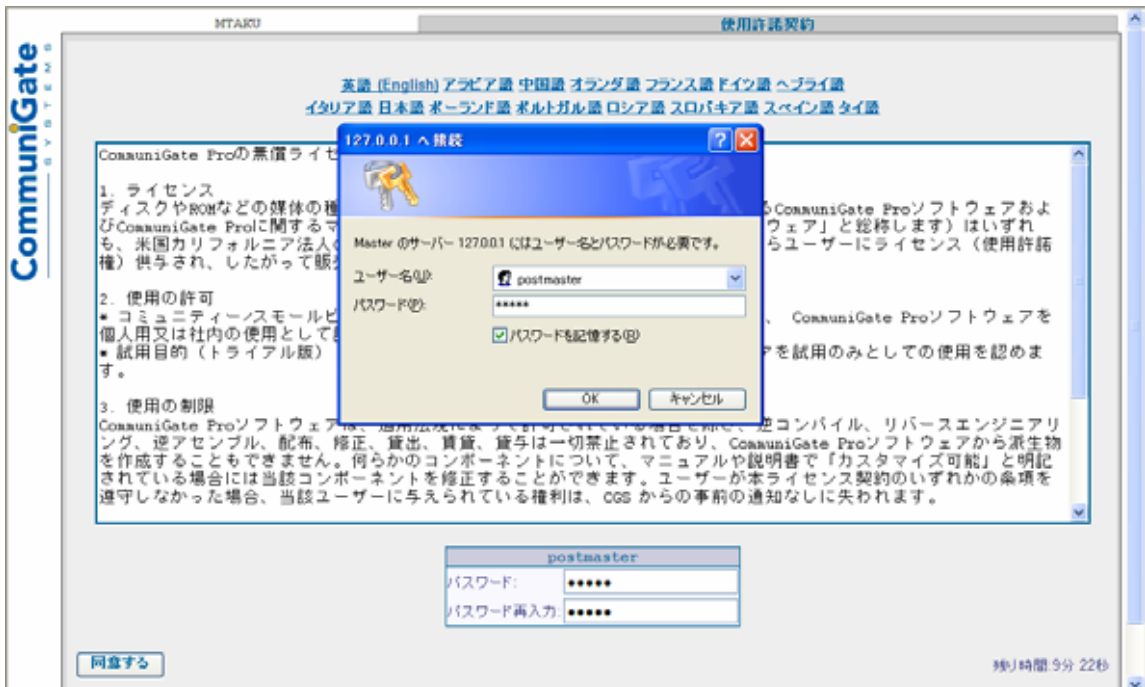


上部の[Japanese]を選択すると、日本語表記に切り替わります。

下部のテキストボックス(2箇所)に、[postmaster]のパスワードを指定して、[同意する]ボタンを押してください。



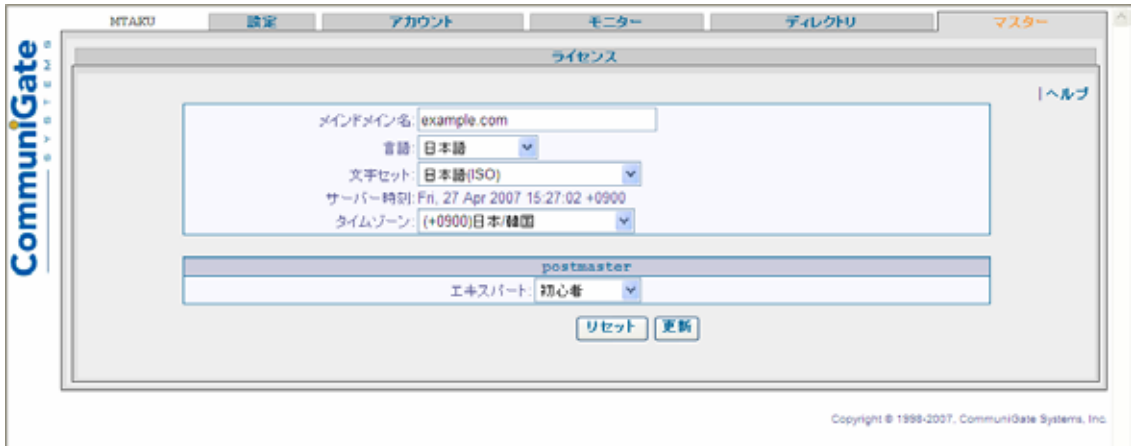
指定した postmaster のパスワードを確認されますので、入力して[OK]を選択してください。



## ドメインの登録と基本設定

[マスター]の[ライセンス]で下記の項目を選択して[更新]ボタンを押してください。

- メインドメイン名: [CGP サーバが処理対象のドメイン名]
- 言語: [日本語]
- 文字セット: [日本語(ISO)]
- タイムゾーン: [(+0900)日本/韓国]



## アカウントの登録

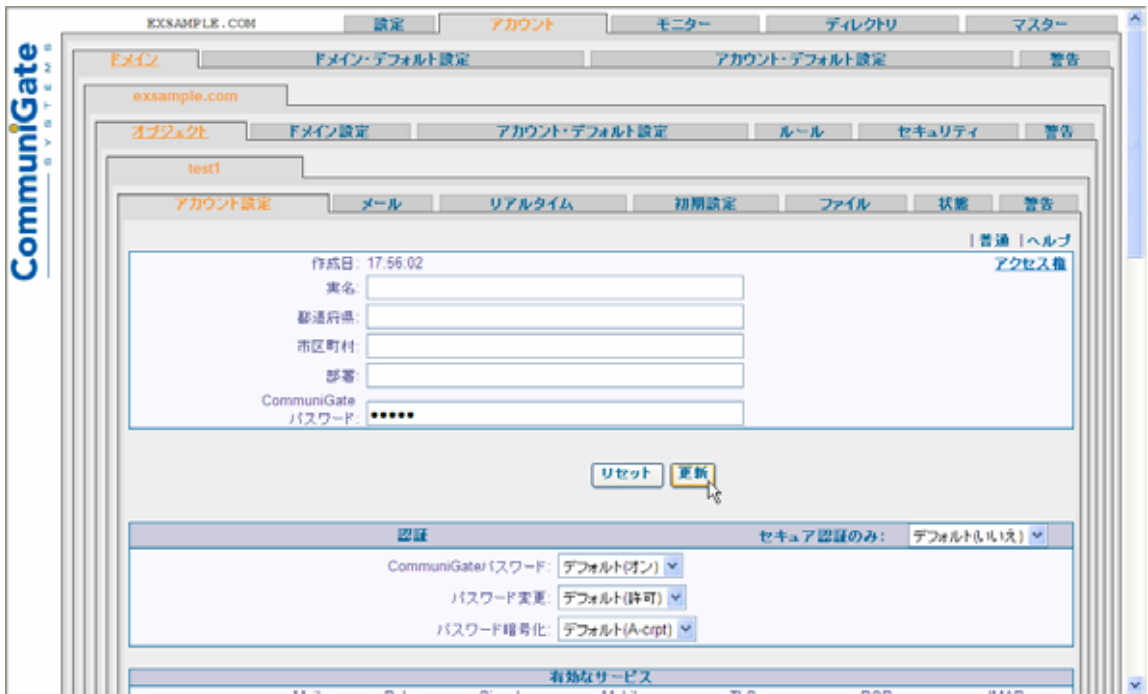
次にアカウント作成の画面に移ります。

[アカウント作成]のテキストボックスに、任意のアカウント名を入力して[アカウント作成]ボタンを押します。



[実名:]・[都道府県:]・[市区町村:]・[部署:]・[CommuniGate パスワード]のテキストボックス内、必要項目を入力して[更新]ボタンを押すと、アカウントが作成されます。

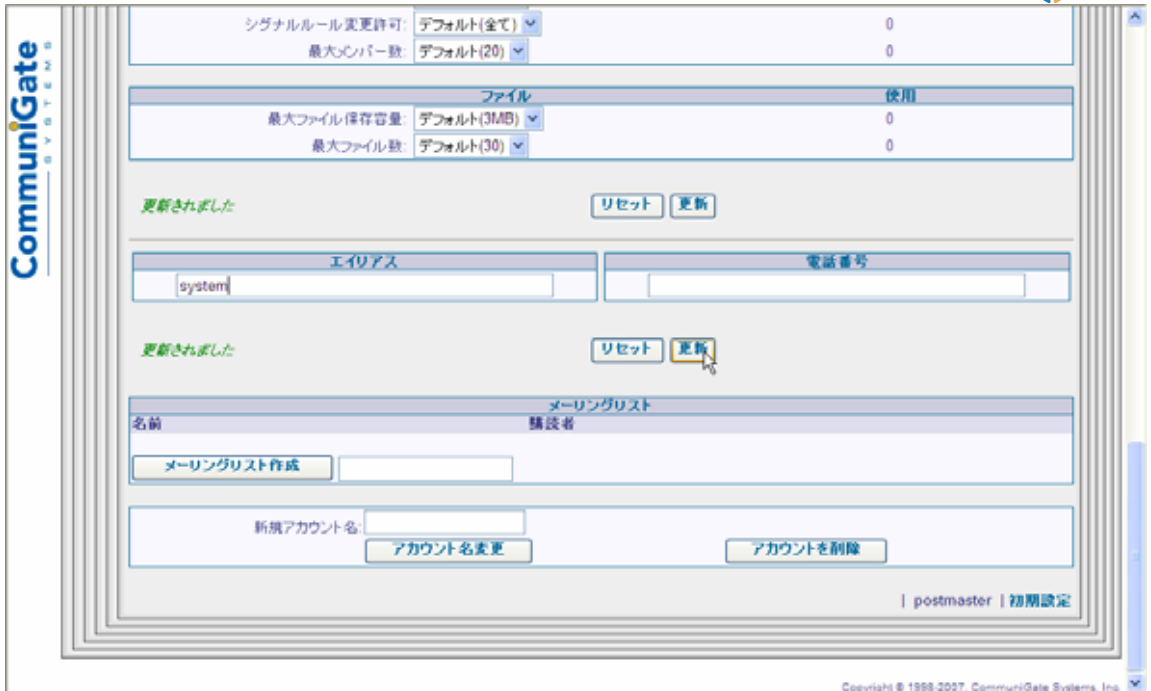
※ 全て必須入力項目ではありませんが、本番環境でご利用の場合、[CommuniGate パスワード]は必ず指定することをお勧めさせていただきます。ここで入力したパスワードが、各クライアントアプリケーションで使われます。



## エイリアスの登録

必要であれば、エイリアスを指定することができます。入力したエイリアスは、CGP 上で、このアカウントの別名として使用されます。  
[アカウント設定]画面を下にスクロールし、[エイリアス]のテキストボックスに任意の名称を指定し、[更新]ボタンを押します。

※ エイリアスは「アカウント名の別名」  
例えば、ソフトウェアフォンで IP 電話をかける際に、電話番号を入力するのではなく、エイリアスを入力することで電話がかけられるようになります。メッセージャーやテレビ会議システムを利用する場合も同様です。



※ 後でアカウントやエイリアスの登録や変更をする場合は、WebAdmin の[アカウント] -> [ドメイン]のドメイン名を選択すると、アカウント作成の画面に移ります。



## Web ユーザーインターフェイスのデフォルト設定

新規で作成したアカウントの Web インターフェイスを任意のレイアウトに指定したい場合、[アカウント] -> [アカウント・デフォルト設定] -> [初期設定]の[レイアウト]で指定することができます。



## ライセンスキーの登録(製品版を購入した場合のみ)

[マスター]の[マスターキー]と[個別機能有効化キー]のテキストボックスに、CommuniGate Systems 社より発行されたライセンスキーをそれぞれ入力し、[更新]ボタンを押します。



※ キーを入力しない場合は評価版プログラムとして稼働します。

評価版には次の制限があります。

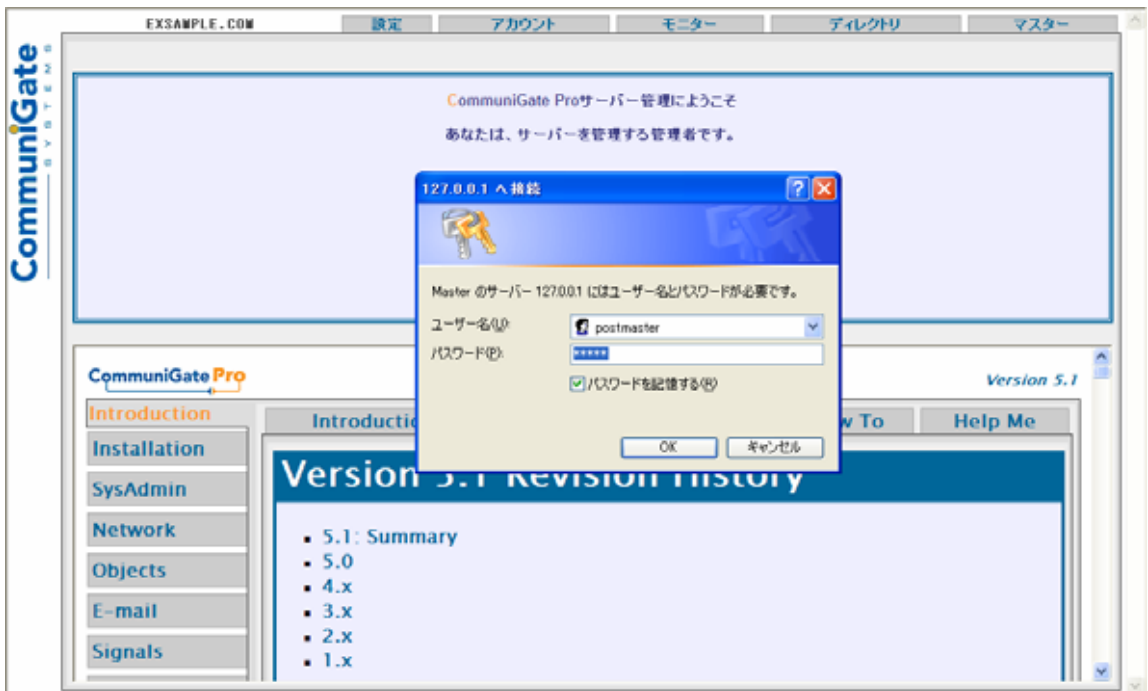
- CGP を経由したメール全てに試用版である旨の英文が挿入されます。
- プラグイン(アンチウイルス・アンチスパム)の試用版をご利用になる場合、1日1通だけ処理が可能です。
- クラスター構成を組むことはできません。

その他機能に制限はありません。

以上で基本的な設定が終了し、CGP のサービスを利用できるようになります。

## ※ WebAdmin インターフェイスへのログイン

以後、WebAdmin インターフェイスにアクセスし、[設定]・[アカウント]・[モニター]・[ディレクトリ]・[マスター]のいずれかを選択した場合、postmaster のパスワードを求められます。認証が成功すると、WebAdmin インターフェイスを利用できます。



## Outlook の設定

CGP と Outlook の連携機能を使う場合、MAPI コネクタが必要です。

MAPI コネクタとは、CGP と Outlook が連携して、メールボックスやカレンダーを共有することができるようにするために、クライアントマシンにインストールするソフトウェアです。

- ※ MAPI コネクタをインストールするマシンには、Microsoft Outlook97、2000、XP、2003 のいずれか（正規のライセンスバージョン）が稼動している必要があります。
- ※ 設定箇所やダイアログボックスの形式は Windows と Outlook のバージョンによって異なることがあります。本書では Windows XP Professional と Outlook 2002 を前提に作成しております。

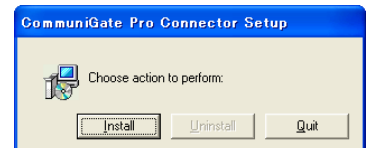
### MAPI コネクタのインストール

MAPI コネクタインストーラーは、製品に付属している CD-ROM、又は、下記の Web サイトから入手することができます。

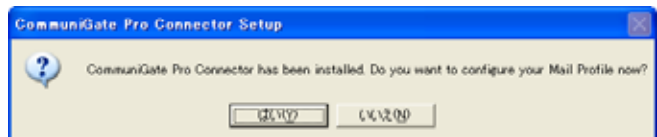
<http://www.dragon-networks.com/products/cgp/trial/index.html>

- ※ MAPI コネクタを使用する場合、MAPI コネクタ共有ライブラリ(.dll)が必要です。MAPI コネクタをインストールすると、このライブラリが Windows のクライアントマシンにインストールされます。

ダウンロードした[CGatePro-MAPI-Intel.zip]を解凍すると作成される[Setup.exe]を実行し、[Install]ボタンを押します。



インストールが完了すると、右のメッセージが現れます。そのまま続けて、メールプロファイルの作成をするには[はい]を選択してください。



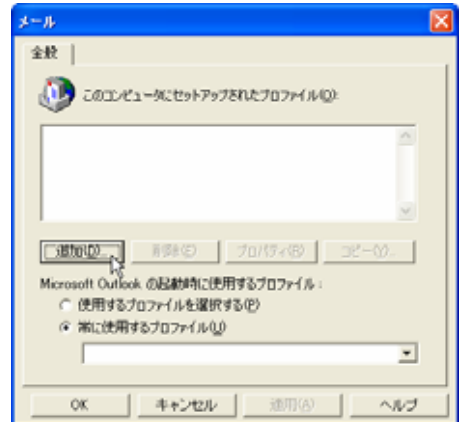
- ※ ここで[いいえ]を選択し、後でメールプロファイルの作成を実施するには、[スタートメニュー] -> [コントロールパネル] -> [メール]を選択してください。

### メールプロファイルの作成

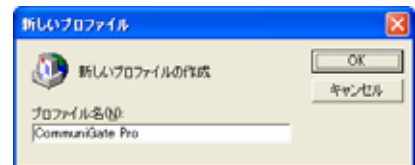
MAPI コネクタをクライアントマシンにインストールした後、メールプロファイルを作成します。このメールプロファイルの情報をもとに、Outlook（その他のアプリケーション）で CGP の MAPI サービスが利用できるようになります。

※ Outlook 98 または Outlook 2000 を使用している場合、Outlook が[企業/グループウェアモード]で動作している必要があります。確認方法は、Outlook の[ツール]から[オプション]を選択し、[オプション]ダイアログボックスの[メールサービス]タブを選択し、[メールサポートの再設定]の[メールサービス]ダイアログボックスが開きます。このダイアログボックスで[企業]また[ワークグループ]オプションを選択します。

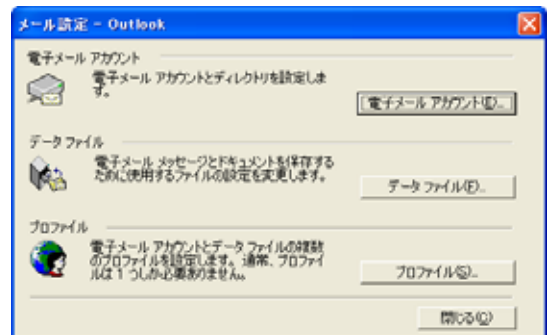
表示された[メール]の[追加]ボタンを押します。



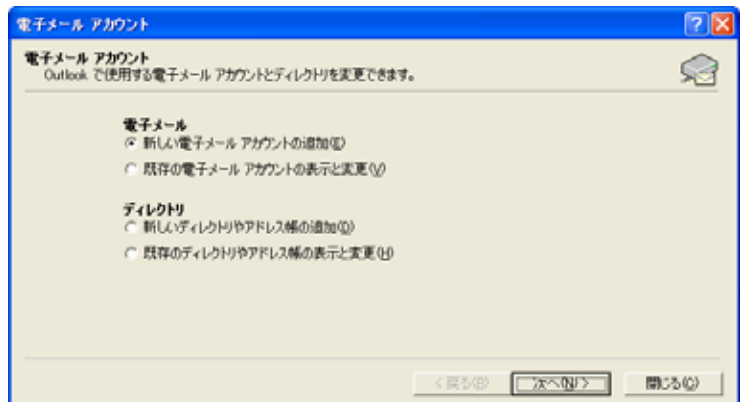
[新しいプロファイル]に任意のプロファイル名を入力し、[OK]を押します



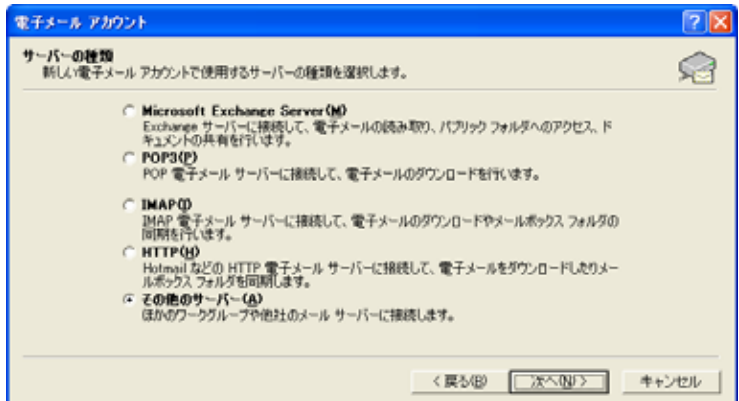
[メール設定]の[電子メールアカウント]を選択します。



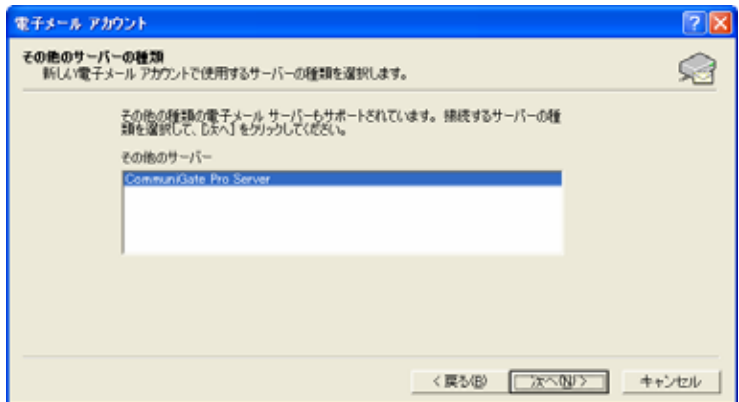
[新しい電子メールアカウントの追加]を選択して[次へ]



[その他のサーバ]を選択して[次へ]



[CommuniGate Pro Server]を選択して[次へ]



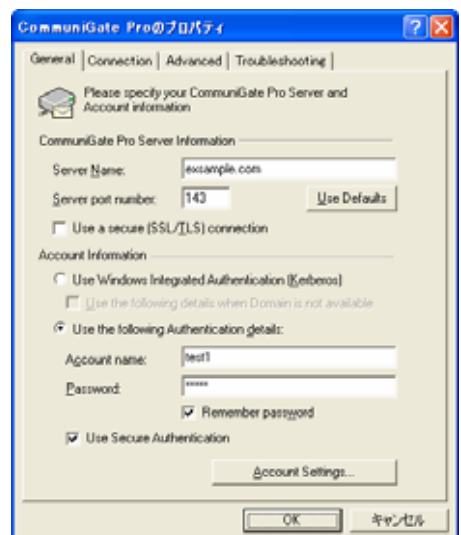
[Communi Gate Pro プロパティ]が表示されます。

## MAPI コネクタの設定

[Server Name]

このフィールドには、使用している CGP サーバ名を入力します。(CGP サーバのネットワーク IP アドレスを指す A レコードのドメイン名です。)MAPI コネクタよって、ここで指定した CGP サーバの名(ドメイン名)にアカウント名が付加され、正規のアカウント名として CGP サーバに送信されます。CGP で複数のドメインを使用している場合、このフィールドにはいずれかのドメイン名(アカウントが属するドメイン名)を指定しなければなりません。または、そのドメインのエイリアスを指定します。指定しない場合、サーバから、アカウントがリモートシステムに移動したことを知らせるエラーが出力されます。

[Server port number]



このフィールドには、CGP のネットワークポートのうち、MAPI クライアント用として使用されるポートを指定します。このポートは通常の IMAP クライアントのポートと同じです。

## [Use a secure [SSL/TLS] connection]

このチェックボックスを選択しておく、上記の[サーバポート番号]フィールドに指定したサーバポートを介してネットワーク接続が実行されたら STARTTLS コマンドを使って処理が行われ、データがすべて暗号化されます。通常、このオプションは有効にしおきます。

※ 暗号化通信を行うためには、相手側のメールサーバも STARTTLS コマンドに対応している必要があります。

## [Account name]

CGP に登録済みのアカウント名を入力します。このアカウント名は、正規の形式(アカウント名@ドメイン名)や、簡易名(@以下なし)で指定することができます。簡易名の場合、MAPI コネクタによって自動的に[サーバ名]フィールドの値が付加されます。

## [Password]

上記の[アカウント名]フィールドに指定したアカウント名のパスワードを入力します。

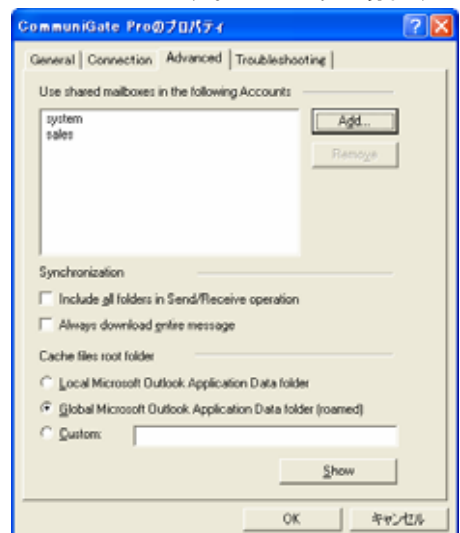
## [Remember Password]

このチェックボックスを選択しておかない場合、ログインダイアログボックスで必ず、パスワードを入力しなければなりません。選択しておく、一度入力したパスワードは MAPI コネクタの設定データに保存されます。

## [Use Secure Authentication]

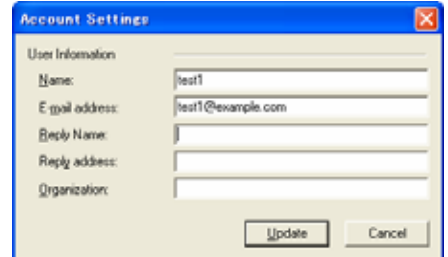
このチェックボックスを選択しておく、パスワードがセキュア(暗号化)SASL CRAM-MD5 方式で送信されます。パスワードが一方向暗号化方式でサーバに保存されるように設定している時には、このオプションは機能しないのでチェックボックスは外しておきます。外してある場合、パスワードはクリアテキストで送信されます。パスワードをクリアテキストで送信しなければならない場合、[SSL/TLS 接続を使用]チェックボックスを選択しておきます。

続いて、[Advanced]タブを選択し、CGP のアカウントに関して、その他の設定を行います。上部の[追加]と[削除]のボタンを使って、共有メールボックスのアカウント名を追加または削除します。共有メールボックスが別のドメインにある場合、そのドメイン名も指定します。つまり、アカウント名@ドメイン名の形式で指定します。なお、共有メールボックスにアクセスする場合、その共有メールボックスのオーナーからメールボックスアクセス権が付与されていないとできません。そうでない場合、共有メールボックスへのアクセスとオープンはできません。

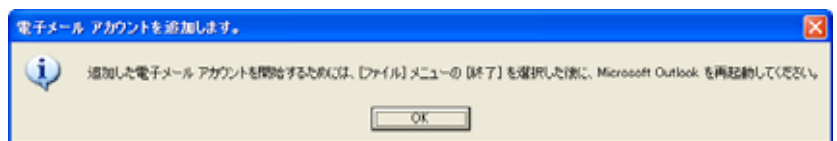


※ Outlook では、共有メールボックスのオープンの際、ゴミ箱(Trash)メールボックスへのアクセスが必要になります。そのため、上のオプションを使用する場合、ゴミ箱(Trash)メールボックスが存在すること、また、そのメールボックスについて 表示、閲覧、挿入、削除の各アクセス権が付与されているかどうかをチェックすることが必要です。

全ての項目の入力が終了し、[OK]ボタンを押すと認証確認のメッセージが表示されますので、[OK]を選択します。



また、右のメッセージが現れることがあります。[OK]を押し、Outlook を起動していた場合は一旦終了させます。

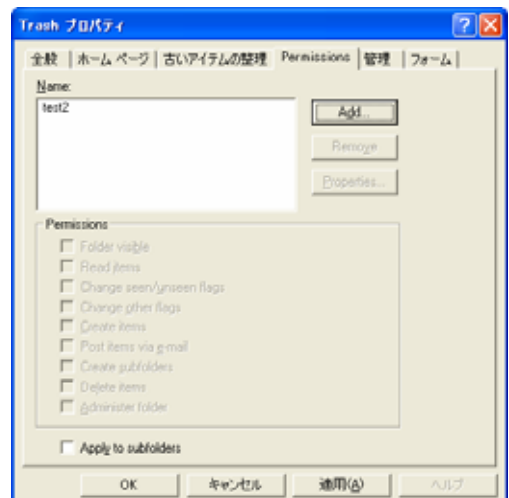


以上のようにしてプロファイルの設定が終われば、CGP の MAPI コネクタを介し、Outlook 上でフォルダやカレンダーを共有することができるようになります。

## フォルダの共有に関する設定

ユーザが別のユーザのメールボックス、タスク、コンタクトなどにアクセスする場合、そのユーザは別のユーザのアカウント名を指定しておかなければなりません(手順は上記[Advanced]タブの説明を参照)。以上の設定([Advanced]タブでの設定と[Trash]メールボックスに関する設定)が完了すれば、ユーザ(メールボックスのオーナー)は、アクセスを許可するユーザと、そのユーザに付与するアクセス権(閲覧のみ、変更可など)を設定(アクセスコントロール)します。アクセスコントロールは、各共有フォルダ(別のユーザがアクセスできるフォルダ)について、それぞれ設定できます。設定する場合、まず、Outlook のフォルダリストから共有フォルダにしたいフォルダ(メールボックス、カレンダー、タスク、コンタクトなど)を右クリックし、[プロパティ]オプションを選択します。

[プロパティ]の[Permissions]タブを選択し、右側にある[Add]ボタンと[Remove]ボタンを使って、共有フォルダに対してアクセスを許可するユーザを追加、削除します。追加したユーザは、リスト(アクセスコントロールリスト)に表示されます。続いて、アクセスコントロールリストのユーザを選択し、下部のチェックボックスを使って、そのユーザに許可する共有フォルダのアクセス権を設定します。



## 空き時間情報の共有に関する設定

CGP のカレンダーを使うと、ユーザの予定や在社しているかどうか（プレゼンス情報）などを確認することができます。この情報は通常公開しておき、他の利用者はそのユーザをいつ会議に招待できるのかが分かり、面会や相談のアポイントをとるときにも便利です。ユーザのカレンダーから空き時間情報が抽出され、単一の空き時間情報スケジュールに追加されます。

### [他のユーザの空き時間情報にアクセス]

Outlook 上で他のユーザの空き時間情報にアクセスできるようにしたい場合に設定が必要です。この処理は、MAPI コネクタで自動的にには行われず、Outlook 自体の設定が必要になります。以下が手順です。

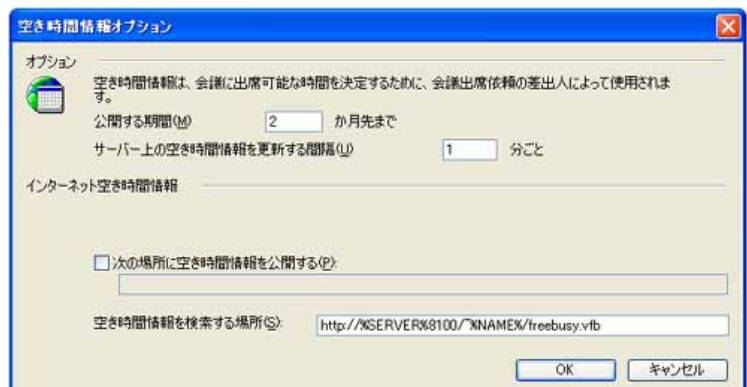
- Microsoft Web Publishing Wizard (Web 発行ウィザード) をインストール (www.microsoft.com からダウンロードできます)
- [初期設定] タブを選択
- [ツール] メニューから [オプション] を選択
- [予定表オプション] ボタンを選択
- [空き時間情報オプション] ボタンを選択
- [空き時間情報を検索する場所] に URL とし “http://%SERVER%/~%NAME%/freebusy.vfb” と入力
- [OK] ボタンを何回か選択して、ダイアログボックスをすべて閉じる

以上の設定により、Outlook 上で任意のユーザの空き時間情報の参照が必要になった場合、[空き時間を検索する場所] に入力されている URL をもとにして、そのユーザの空き時間情報を取り出すことができます。その場合、%SERVER% は、そのユーザの電子メールのドメイン部に置き換えられ、また、%NAME% は、そのユーザの電子メールのユーザ名に置き換えられます。例えば、ユーザの電子メールが test2@example.com だったとします。その場合、

<http://mail.example.com/~test2/freebusy.vfb>

という URL を使って、そのユーザ (test2) の空き時間情報が取り出されます。

※ 上記のようにして [空き情報を検索する場所] に入力した URL は、CGP の Web インターフェイスの接続ポートが 80 に設定されているときにのみ有効です。そのため、WebUser インターフェイスの接続ポートを 8100 などの非標準ポートに設定しているときには、[空き情報を検索する場所] には、その非標準ポートを含めた URL を指定しなければなりません。例えば、次のようになります



<http://%SERVER%:8100/~%NAME%/freebusy.vfb>

- ※ 上記のようにして[空き情報を検索する場所]に入力した URL は、CGP のドメイン(この例では example.com)の A レコードがあり、その A レコードが CGP サーバを指しているときにのみ有効です。DNS にドメインの A レコードがないか、あっても別のサーバ(例えば、会社の Web サーバなど)を指している、または、CGP サーバのアドレスが mail.example.com、cgate.example.com、mx.example.com といった A レコードで定義されていることもあります。こういった場合、[空き情報を検索する場所]の URL には、そのドメイン名を指定しなければなりません。

(例:ドメイン名が mail.example.com の場合 <http://mail.example.com/~%NAME%/freebusy.vfb>)

- ※ CGP サーバのドメインが一つしかないときには、%SERVER%の代わりに、そのドメイン名を指定することもできます。

<http://mail.example.com/~%NAME%/freebusy.vfb>

上記では、mail.example.com は CGP の単一のドメイン名(またはエイリアス)で DNS A レコードは、CGP サーバを指しています。

なお、上記のようにしてドメイン名を指定した場合、空き時間情報にアクセスできるのは CGP サーバのユーザだけに限定されます。[空き情報を検索する場所]に入力した URL が有効な場合、つまり、その URL で freebusy.vfb ファイルにアクセスが可能な場合、別の CGP サーバのユーザの空き時間情報も取り出されます。

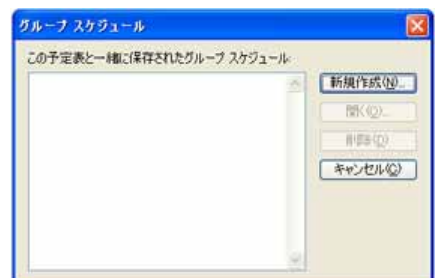
- ※ Outlook 上で、リモートユーザの freebusy.vfb ファイルの場所を明示的に指定することで、そのリモートユーザの空き時間情報を取り出すこともできます。この場合、明示的に指定した場所が[空き情報を検索する場所]の URL より優先されます。

設定手順は、まず、Outlook で新規のアドレス帳(Contacts)を作成し、空き時間情報を共有するユーザ情報を次の手順で登録します。ユーザ登録メニュー(連絡先)の[全般]タブで姓、名、電子メールなどの情報をを入力します。その後、[詳細]タブを開き、[インターネット空き時間情報](アドレス)フィールドにリモートユーザの freebusy.vfb ファイルの場所(URL)を入力します。下記は URL の例です。

<http://mail.example.com/~%NAME%/freebusy.vfb>

## [他のユーザの空き時間を参照する]

Outlook の左側のメニューから[予定表]を選択し、[アクション] -> [グループ スジュールの表示]を選択すると、[グループ スケジュール]ダイアログが表示されます。空き時間情報を参照するメンバのグループを作成するため、[新規作成]を選択して新しいグループ スケジュールの名前を登録します。グループの作成が終了すると、グループ スジュールのウィンドウが開きます。





[出席者の追加]を選択し、ポップアップメニューから[アドレス帳から追加]を選択します。[メンバーの選択]ダイアログが表示されるので、追加したいメンバーを選択し、「宛先」ボタンを選択してから、[OK]ボタンを選択します。ここまでの設定で、同一グループ内のユーザの空き時間を上記の[グループ スケジュール]のウィンドウで参照することが可能になります。



## Outlook で可能な作業

以上のように Outlook と MAPI コネクタの設定が終われば、以下のような機能が利用できます。

- 電子メールの作成、送信、受信
- 会議、イベント、アポのスケジュール作成
- 出席依頼、依頼に対する返事の受け取り、返答
- アポの再スケジュール、変更
- アポに対する繰り返しの設定
- ユーザの空き時間情報、メールボックスの共有
- カレンダー、コンタクト(連絡先)、タスク(仕事)の共有
- メールボックスフィルタの設定(ウィザード使用)
- フォルダの検索(検索ユーティリティ使用)
- オフラインモードで作業し、接続して同期

## Web ユーザーインターフェイス上での操作

ここまでの説明で Outlook を使ったメールボックスやスケジュールなどの情報共有が可能です。これと同じ作業を Web ユーザーインターフェイスでも行えます。また、Web ユーザーインターフェイスはカスタマイズが可能で、14 ヶ国語の言語に対応したスキンが用意されています。こうしたスキンを使うことで、Outlook や Entourage などの主要メッセンジングアプリケーションと同じようなインターフェイスにすることもできます。

## Web ユーザーインターフェイスへの接続

CGP の Web ユーザーインターフェイスには、デフォルトでは次のいずれか URL を使ってアクセスできます。

<http://サーバの IP アドレス又は FQDN:8100>

<https://サーバの IP アドレス又は FQDN:9100>



CGP に用意されている Web ユーザーインターフェイスは、セットアップも操作も極めて簡単です。また、電子メールの送信や取り出しのほか、カレンダーや共有フォルダにアクセスすることもできます。Web ユーザーインターフェイスは多くの主要ブラウザに対応しています。インターネットエクスプローラ™、Mozilla Firefox™、Apple Safari™のほか、テキストオンリー Web ブラウザである Lynx™もサポートされています。

## Web ユーザーインターフェイスへのログイン

認証画面が開いたら CGP に登録されているユーザ情報を[ログイン名]、[パスワード]に入力し、Web ユーザーインターフェイスにログインします。下図はユーザが Web ユーザーインターフェイスにログインした時のスクリーンショットです。



## Web ユーザーインターフェイスの基本設定

Web ユーザーインターフェイスの左側のサイドメニューから、[設定]を選択し、上部メニューの[基本設定]を選択し、[設定]画面にある下記の項目の設定を確認します。

- レイアウト: [自分の好みに合わせたスキン]
- 言語: [日本語]
- タイムゾーン: [Japan/Korea]
- 文字セット: [日本語(ISO)]

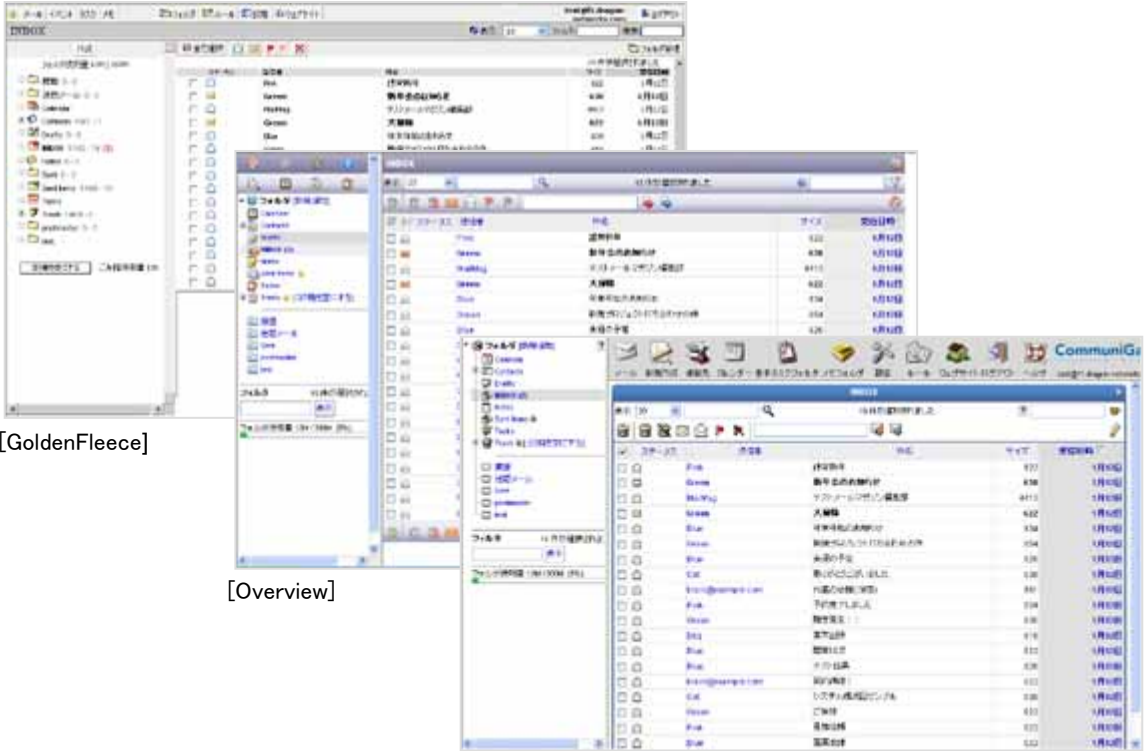


以上の設定で、Web ユーザインターフェイスを日本語の環境で使用することができるようになります。

※ その他の詳細な設定に関しましては、CGP の正規マニュアルをご覧ください。

## 多彩な Web スキン

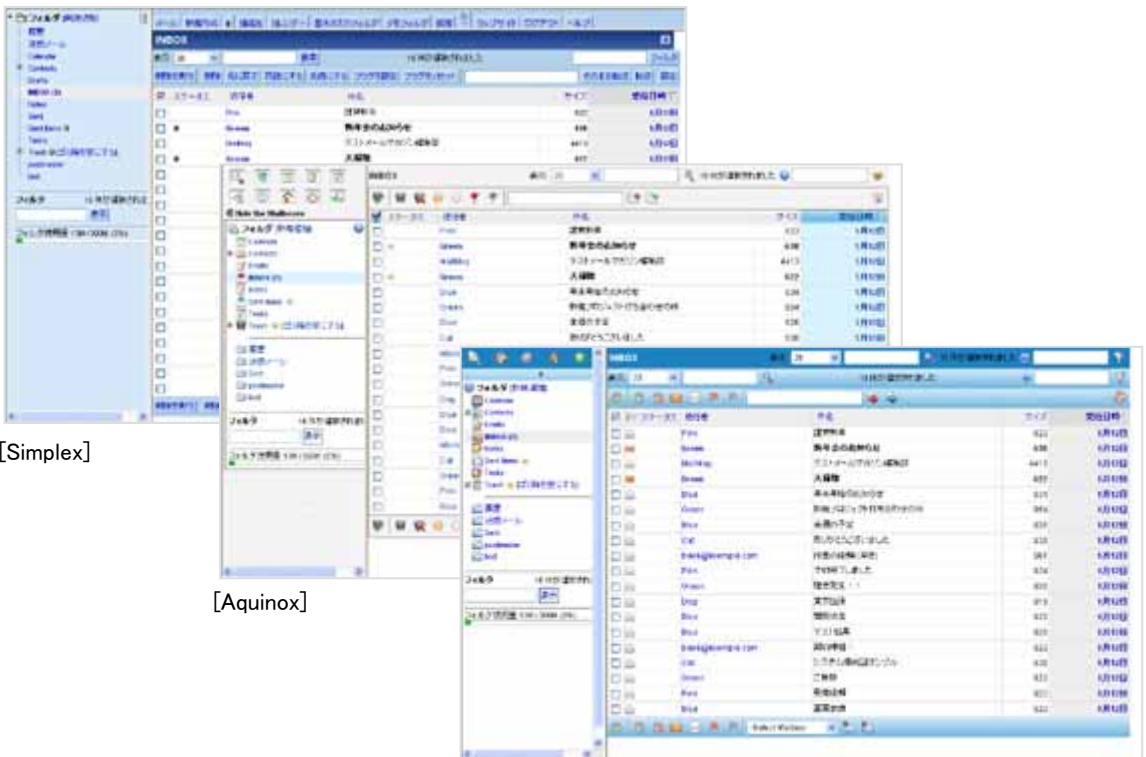
CGP には、現状、6 種類の Web スキンが搭載されており、ユーザの好みで自由に選択することが可能です。上記の基礎設定項目の中にある[レイアウト]のメニューで変更することができます。選択可能なスキンは次の通りです。



[GoldenFleece]

[Overview]

[Viewpoint]



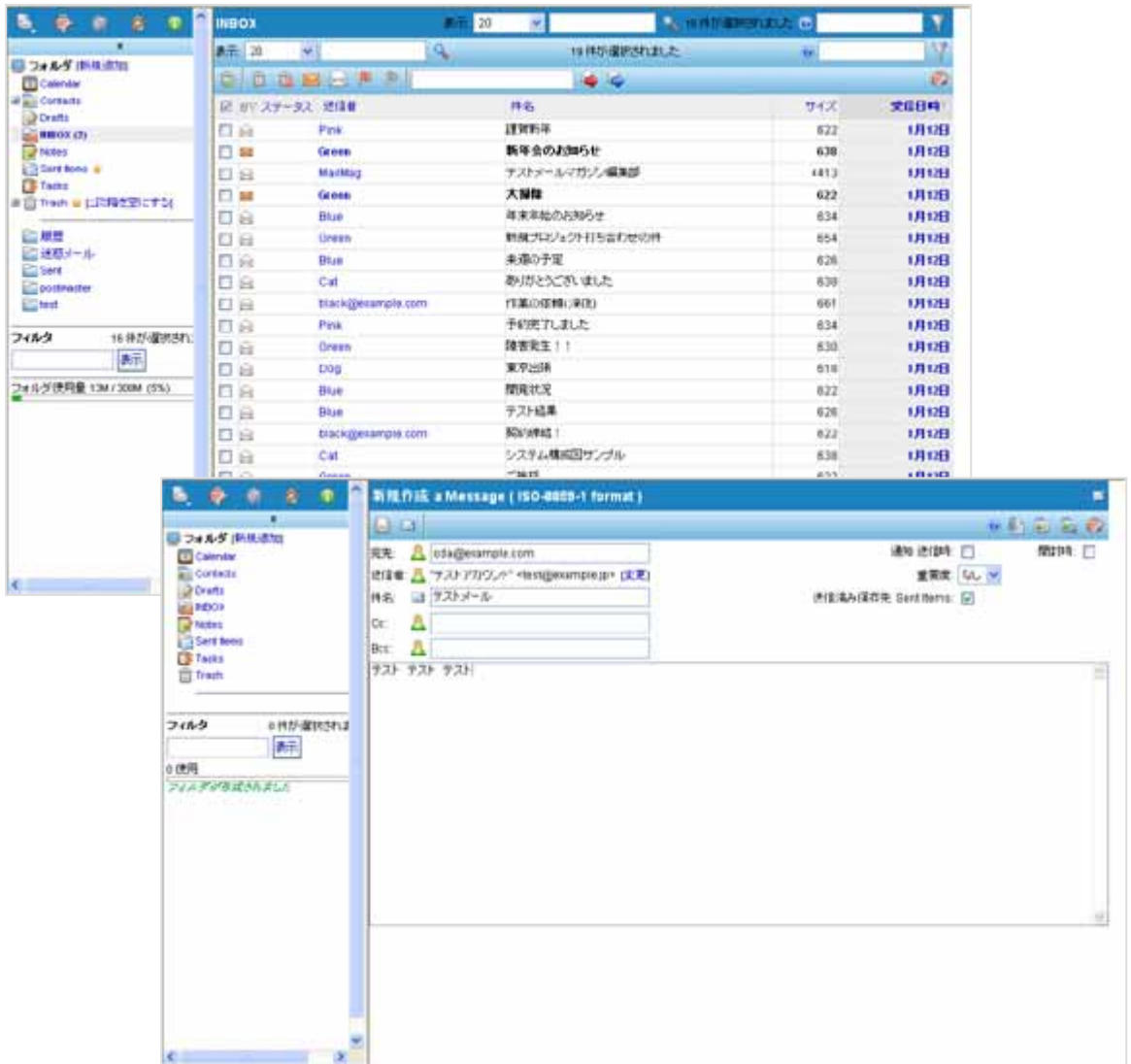
[Simplex]

[Aquinox]

[XChange]

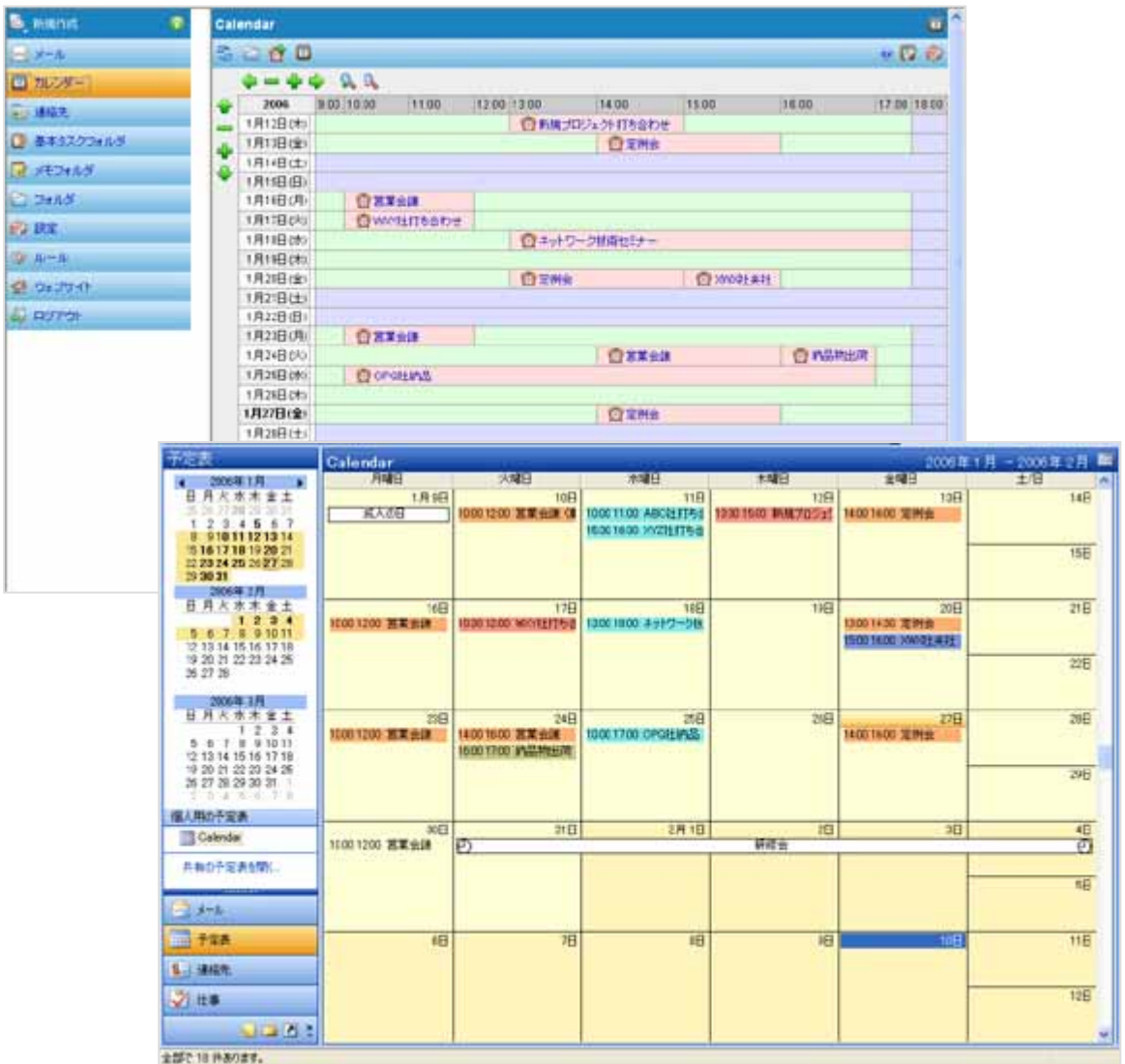
## Web メール

Web ユーザーインターフェイスの主要機能の一つとして、Webメールの機能があります。ユーザはメールの送信だけでなく、自分のメールボックスのリストを表示したり、新規のメールボックスを作成したりできるほか、メールボックス内のデータを検索することもできます。



## カレンダー

Web ユーザーインターフェイスを使って、ユーザは、カレンダー情報(会議、アポ、イベントなど)の管理を行うことが可能です。また、MAPIコネクタがインストールした環境であれば、OutlookとWeb ユーザーインターフェイスのカレンダーを同期させたり、メールボックスと同じように、他のユーザとカレンダーを共有する事も可能です。



## Outlook 以外のメールクライアントによるメールボックスの共有

MAPIコネクタと Outlook の設定の時に行った、他のユーザとのメールボックスの共有を MAPIコネクタに対応していない他のメールクライアントでも行う(IMAP 接続時)ことができます。この場合、Outlook の設定の時と同じ様に、その共有メールボックスのオーナーからアクセス権が付与されていなければなりません。そうでない場合には、共有メールボックスへのアクセスとオープンはできません。

ユーザが別のユーザのメールボックスにアクセスするには、アクセスされる側のユーザが、アクセスする側のアカウント名を指定して、共有するメールボックスへのアクセス権を設定します。アクセス権を設定する場合、まず、Web ユーザインターフェイス左側のサイドメニューから[メール]を選択し、メール画面の右上にある[設定アイコン]を選択します。



アクセス権の設定画面が開いたら、[許可]フィールドに、共有を許可するユーザのアカウント名を入力し、そのユーザの共有フォルダへのアクセス権を設定(付与)します。入力が完了したら、画面左上の[更新]ボタンを選択します。以上で共有フォルダのアクセス権の設定は終了です。

続いて、共有メールボックスにアクセスする側のユーザの設定を行います。まず、Web ユーザインターフェイスの左側のサイドメニューから[設定]を選択し、上部メニューの[フォルダ]を選択します。フォルダの設定画面が開いたら、[別名]の部分に共有メールボックスを識別する名前(ユーザ名など)を入力し、[フォルダ]の部分に共有メールボックス名を(`user\_name/mailbox\_name)の形式で入力します。たとえば、ユーザ名が”demo”で、共有するメールボックス名が”INBOX”である場合は、(`demo/INBOX)と入力します。



以上の設定を行うことで、メールクライアントの”INBOX”配下に”demo”が追加され、設定を行ったユーザから”demo”のメールボックス内を閲覧することが可能になります。

## Web サイト

Web ユーザインターフェイスの Web サイト機能により、各ユーザが個人の Web サイトを構築することが可能です。ユーザはこの機能を利用することで、パーソナル Web サイトへのファイルの追加、取り出しなどの更新作業を行うことができます。



ユーザが作成した、パーソナル Web サイトには、下記の URL でアクセスすることができます。

<http://ドメイン名:ポート/~アカウント名>

たとえば、ドメイン名が”mail.example.com”でサービスの公開ポートが”8100”を使用し、アカウント名が”demo”である場合、指定する URL は、<http:mail.example.com:8100/~demo>になります。

パーソナル Web サイトのデフォルトページの名前は、”default.html”でなければなりません。この設定を”index.html”に変更したい場合は、Webadmin インターフェイスの次の設定項目を変更する必要があります。設定を行うには、Webadmin インターフェイスの左側のサイドメニューから[Domain]を選択 します”All Domains”画面が開いたら、設定対象のドメイン(example.com など)を選択し、その後”Domain”画面上部の[Account Defaults]を選択します。次の設定画面が開いたら”Miscellaneous” の”Default Web Page” を”index.html”に変更します。

## アンインストール

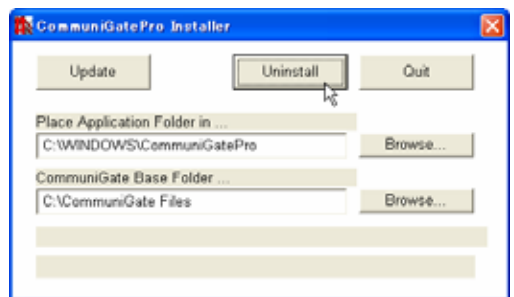
CGP は、評価終了後にアンインストールする方法も非常に簡単です。

### CommuniGate Pro のアンインストール

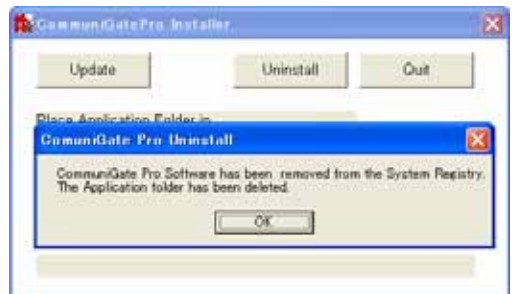
#### Windows の場合

CGP のサービスを停止します。(サービス名:「CommuniGate Pro Messaging Server」)

インストーラを実行し、[Uninstall]ボタンを押します。



処理が終了すると、右の画面が表示されます。  
[OK]を押します。



CGP の設定情報が残されたフォルダが残されたままになります。  
(デフォルトでは、プログラム本体が[C:\WINDOWS\CommuniGatePro\]、ドメインやアカウントの情報が[C:\CommuniGate Files\])  
完全に削除したい場合は、このフォルダを手動で削除してください。

※ 上記のフォルダは、アンインストール後に再度インストールして同じ設定内容を利用したい場合は、削除しないことをお勧めします。

以上で CGP のアンインストールが完了です。

#### Linux の場合

スーパーユーザ(root)でログイン後、CGP のプロセスを停止します。  
例:「/etc/rc.d/init.d/CommuniGate stop」)

「-e」オプションをつけてインストーラを実行します。(例:「rpm -e %パッケージ名%」)

※ パッケージ名:

インストーラのファイル名が「CGatePro-Linux.i386.rpm」だった場合、パッケージ名は「CGatePro-Linux」です。(インストールした CGP パッケージ名は、コマンドラインで“rpm -aq | grep CGatePro” を実行してご確認頂けます。)

CGP の設定情報が残されたディレクトリが残されたままになります。

(デフォルトでは、プログラム本体が[/opt/CommuniGate/]、ドメインやアカウントの情報が[/var/CommuniGate/])

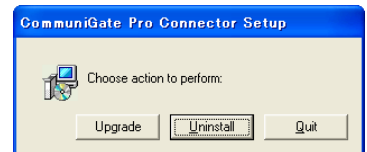
完全に削除したい場合は、このディレクトリを手動で削除してください。

※ 上記のディレクトリは、アンインストール後に再度インストールして同じ設定内容を利用したい場合は、削除しないことをお勧めします。

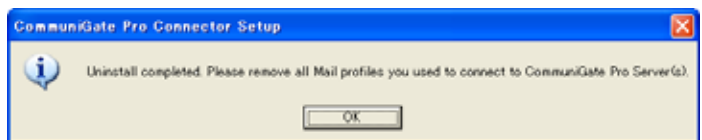
以上で CGP のアンインストールが完了です。

## MAPI コネクタのアンインストール

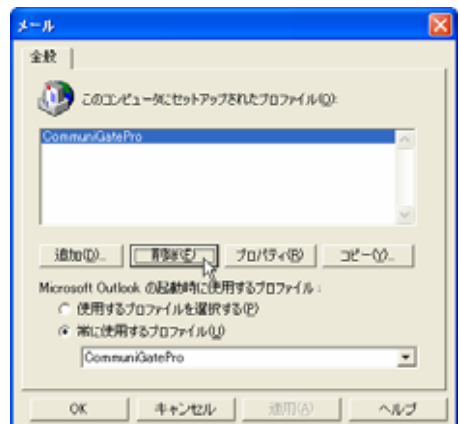
インストールに使った[Setup.exe]を実行し、[Uninstall]ボタンを押します。



処理が終了すると下記のメッセージが表示されますので、[OK]を押します。



メッセージの指示通り、作成したメールプロファイルを削除します。



以上で MAPI コネクタのアンインストールが完了です。

## CommuniGate Systems について

---

CommuniGate Systems の本社はカリフォルニア州ミルバレーにあり、顧客企業・団体は世界で 9000 を超えています。顧客は、大手ブロードバンド企業やワイヤレス／有線サービスプロバイダから、エンタープライズ、大学と様々です。エンドユーザは 1 億 2500 万人を超え、そのうち 4500 万人以上が音声ユーザで、いずれもユーザも CommuniGate Pro の音声／データ通信機能に大きな信頼を置いています。(2006 年 4 月時点)

CommuniGate Systems 開発の CommuniGate Pro は、現在、そのスケーラブルな電子メールメッセージング／コラボレーション機能によりコミュニケーションサーバとしてはトップの座にあり、30 種類以上の主要コンピュータプラットフォームで動作します。スケーラビリティと機能は格段に優れており、市場に出回っている他社のメッセージングソリューションと比べて、はるかに多くの賞を受賞しています。

<http://www.communiGate.com>

## 本資料に関するお問い合わせ:

---

ドラゴン・ネットワークス株式会社

〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷 2-2-5 ネオーバビル 3F

Tel:03-5454-2172 Fax:03-5454-2175

E-mail: [products@dragon-networks.com](mailto:products@dragon-networks.com)

<http://www.dragon-networks.com/>



※ CommuniGate Pro のインストールや設定についての詳細は、マニュアルに記載がございます。マニュアルをご希望の場合は、ドラゴン・ネットワークス株式会社までお問い合わせください。

※ 本資料に記載されている会社名及び商品名は、各社の商標または登録商標です。